

特別企画



開催報告：第2回 JEMEA 若手サマースクール

東京電機大学工学部応用化学科 望月大
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5
e-mail: daim@mail.dendai.ac.jp

2016年に始まった若手サマースクールが第二回目として、2017年8月29・30日に長野県御代田町で開催されました。開催に当たり、講師を快く引き受けていただきました京都大学 三谷友彦先生、日本大学 道山哲幸先生、信州大学 滝澤辰洋先生、信州大学 太田和親先生に感謝いたします。参加者は、23名と前年度とほぼ同じ程度の人数が集まりました。大学からの参加者14名（うち学生5名）と産業界からの参加者9名という中でマイクロ波の基礎と応用に関して、幅広く密な議論を交わす機会となりました。

講演会当日の進行としては、次のように行われました。

8月29日

- | | |
|--------|---|
| 13時30分 | 「マイクロ波工学とは」(実演付)
三谷 友彦 (京都大学 生存圏研究所) |
| 14時40分 | 「マイクロ波加熱によるがん治療とは」
道山 哲幸 (日本大学) |
| 18時 | 食事 (BBQ) |
| 20時 | ポスターセッション |

8月30日

- | | |
|-----|---|
| 9時 | 「電子レンジ改造から始めたマイクロ波加熱」
滝澤 辰洋 (信州大学) |
| 10時 | 「カーボンナノチューブのマイクロ波加熱による高速合成」
太田 和親 (信州大学) |

最初の講演者である三谷先生には、電磁気学の初歩を講義いただきました。材料や化学を専門としている参加者から、「電磁気学の教科書を理解するための良いきっかけとなる」といった感想が聞かれる講義でした。また、大学で普段使われている空洞共振器とネットワークアナライザを持ち込んでいただき、電磁波計測を実演していただきました。道山先生の講演では、マイクロ波を利用した医用応用について最新情報を講演していただきま

した。マイクロ波を医用へと展開する中で、電磁波シミュレーションを組み込んだ解析技術は、参加者の中でも話題となりました。二日目には、信州大学から2名の講師（滝澤先生、太田先生）をお招きし、マイクロ波化学の黎明期に関する情報を提供していただきました。電子レンジの改造から始めた化学実験では、黎明期にしか体験できない新たな発見・経験などをお教えいただきました。

一日目の夜にはバーベキューを行い、参加者一同で親睦を深めました。若手サマースクールと銘打っておりますが、比較的幅広い世代の参加者で構成されていたので、普段の研究会や懇親会とは違った環境で活発な議論が交わされていました。その後、ポスター会場に移動し、ポスター発表でデータを基にした深い議論へと進展できました。

